

Ⅲ 市政に関する意見、要望等

(i) 総務財政常任委員会所管

震災に関すること／放射線に関すること／
角田市震災復旧・復興基本計画に関すること／防災に関すること／
協働のまちづくりに関すること／地域活動の推進に関すること／
地域間交流に関すること／姉妹都市・友好都市に関すること／
長期総合計画に関すること／賑わいに交流拠点づくりに関すること／
スマートインターチェンジに関すること／指定管理に関すること／
市税に関すること／市有財産に関すること／年始交歓会に関すること

(ii) 教育厚生常任委員会所管

震災に関すること／ゴミに関すること／
(仮称)仙南クリーンセンターに関すること／小・中学校に関すること／
市民センター・図書館に関すること／文化財保護に関すること／
スポーツ振興に関すること／救急・救命に関すること／
みやぎ県南中核病院に関すること／健康推進に関すること／
子育てに関すること／介護・福祉・高齢化対策に関すること／
結婚相談に関すること

(iii) 産業建設常任委員会所管

震災等による道路・下水道等の復旧に関すること／道路等に関すること／
除雪に関すること／山林に関すること／防災に関すること／農業に関すること／
たい肥センター「農業の館」に関すること／角田ブランドに関すること／
上水道に関すること

No. 1

震災に関すること

意見・質問・要望等

東日本大震災発生に伴い、角田市災害対策本部が直ちに設置されたが、避難者を退かせても予定通り小学校の卒業式を強行しようとするなど、各担当者は非常事態の認識が無く、自分の仕事だけを達成しようとしていた。対策本部への議会側の参加が遅かった。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

定例会の会期中だったが、議会を一時中断し、各議員は個々に地域での救援・支援活動にあたりました。調査特別委員会の正副委員長予定者2名が17日より本部会議に参加し、各議員との連絡調整を実施。23日に本会議を開き「平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会」を設置しました。早く特別委員会を立ち上げて、市民の声を聞く側にまわるべきだったとも思われます。

今後の取組み

災害対策本部として、大震災という非常事態に対する認識を自覚し、諸般の災害対応・活動を行いました。
今後、災害検証を進めていく中で、市の対応についても業務分掌の見直し、職員の初動マニュアルの整備を図りながら、職員の災害に対する意識の向上にも努めたいと考えております。【防災安全課】

No. 2

震災に関すること

意見・質問・要望等

今回の震災時に避難者等が市役所に訪れ手続きを行ないましたが、高齢の避難者の方が、何処に行き手続きをして良いのか迷っていたのを見た。他の役所では既に行なっている総合案内所等を開設し、来訪者に対して親切な案内を行なっても良いのではと思った。【角田地区(田町ブロック)】

当日の回答

只今のご提言は、大変重要なものと考えております。市民サービスの向上に向け、審議の中で提言してまいります。

今後の取組み

今まで経験したことのない大災害の中で、窓口業務の不備があったことは確かであります。
災害対策本部のあり方や運営の仕方、さらに職員の経験不足などの問題が浮上しました。今後、これらのことを検証し改善したいと思います。【防災安全課】

No. 3

震災に関すること

意見・質問・要望等

震災を受けて、防災の検証をしたのか。震災の反省をして、今後の取組みに対応してほしい。【角田地区(北ブロック)】

当日の回答

今後検討します。

今後の取組み

現在、東日本大震災における災害状況、災害対応などを検証するため地区振興協議会、市民の皆さん、行政区長さん、そして防災に係る各種の団体の方々のご意見を聞き検証を進めていきたいと思っています。さらに、その検証結果を踏まえ、問題点、改善点をまとめ平成25年から26年に向け見直しする「角田市地域防災計画」に反映させることとします。【防災安全課】

意見・質問・要望等 災害発生時には区長や民生委員に対して、要求されなくてもガソリンを優先的に支給すべきだ。特に民生委員は無報酬ボランティアのため、近年仕事量が増している。民生委員を引き受けてくれる人がいない。若干の報酬を出すように、県内の議会挙げて国や県へ働きかけてほしい。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答 断水により給水活動を行う民生委員さんの活躍が目立ちました。高齢化が進み、民生委員としての仕事が増加しています。災害時の連絡網の確保が大きな課題でもあります。報酬に関しては当局にも伝えますが、議会でも協議し意見書をまとめて、国に要望していきたいと思えます。

今後の取組み 「災害発生時に区長や民生委員に対し要求されなくてもガソリンを優先的に支給すべきだ。」というご質問についてですが、当時角田市災害対策本部として市内のガソリンスタンドに依頼し、ある程度の燃料の確保ができました。その少ない燃料を第1に人命に関係する自動車等、第2に災害対応関係自動車等を対象とし給油券を配りました。

区長については、災害対策本部からの情報伝達業務等をお願いしていました。民生委員についても高齢者への物資の搬送等を行っていただきましたので、優先的に燃料を配りました。

しかし、燃料供給の先行きの不安から必要最小限度の給油券を発行せざるをえないので、関係者の皆様には、大変ご不便をおかけしました。

今後、この教訓を生かしていきたいと思えます。【防災安全課】

民生委員・児童委員については、市が実施する福祉サービスを必要とする住民に対し、福祉サービスを総合的に提供するため、市の社会福祉調査員として月額5,000円の報酬をおあげしております。【社会福祉課】

意見・質問・要望等 個人からいただいた義援金や寄付金に対して、どの様に使われているのか分からない。寄付した方は、使われ方が分かったほうが長く続けられると思う。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答 個人の寄付や日赤、NHKなどの寄付も角田市の歳入に入れてから分けて支払われます。どの様な使われ方をしているかの広報の仕方については、検討いたします。

角田市では、個人の寄付に対して、お礼状を出しています。

今後の取組み 義援金については、角田市社会福祉協議会で募金している義援金と宮城県からの義援金が合算され、東日本大震災で死亡した方や住宅が全壊、半壊以上の被害を受けた方等にその被害の程度に応じ20万円から100万円が支給されます。

寄附金については、復興寄附金と見舞金として個人、団体等から角田市が受け取る形となります。この寄附金は、あくまで角田市全体の復興の財源として活用されるものです。【防災安全課】

意見・質問・要望等 今回の震災と台風15号の被害額50億円に対して、補助金はいくらくるのか。【角田地区(北ブロック)】

当日の回答 被害額50億円中、約8割くらいが補助金としてくるようです。2割は、一般財源からになります。

今後の取組み 被害額は予算額で約58億円です。補助金、市債及び交付税により約85%が措置され、残りの約15%が一般財源となっています。【財政課】

意見・質問・要望等

- ①年間1ミリシーベルト以上の箇所を除染対象にするとのことだが、除染対象地域を決めるのは具体的に計測してから決まるのか。【藤尾地区】
- ②田・畑・山はどうするのか。【藤尾地区】
- ③子どものいる家庭の放射線量は、市で計測してもらえるのか。【藤尾地区】
- ④低地等(住宅地)で除染しても、その後、また放射線量が高くなるのではないかと。効果を上げるには全体的に大きくやらないといけないと思うがどうか。【藤尾地区】
- ⑤これから田に水を入れる時期になるが、内町湖の放射線量も調べてほしい。【藤尾地区】

当日の回答

- ①国の基準、毎時0.19マイクロシーベルトに、自然界から受ける量毎時0.04マイクロシーベルト以上を足した毎時0.23マイクロシーベルトが除染対象区域となります。シンチレーション式サーベイメータで測定した数値が基準となり、角田市・丸森町・白石市・大河原町等がその区域に指定されました。
- ②1月13日の新聞によると、福島県では道路1km240万円、田1ha100万円、家70万円という除染にかかる目安価格を発表しています。
国の基本的な方針があり、それに沿って除染していきます。また、土壌の質によりますが、ゼオライトを散布して下に封じ込めるようにすることもできます。費用は東電に求めていくような考え方もあります。
- ③市役所西庁舎1階の放射線対策室で簡易測定器を無料貸出しております。
- ④・⑤当局に伝えます。

今後の取組み

- ①市内全域を除染の対象地域とし、除染の実施前に詳細測定を行い、国が定めた除染実施基準の毎時0.23マイクロシーベルト以上の施設などの除染を行うこととなります。平成24年度は、子どもの生活する施設を優先的に実施します。子どもの施設については、国の基準未満の施設も保護者などの不安払拭のため、除染を行います。【放射線対策室】
- ②国が示している除染方法は、農地は反転耕や深耕、森林(生活圏付近)は落葉の回収や枝葉の剪定がありますが、優先順位は後期になります。【放射線対策室】
- 水稻については、セシウム吸収抑制対策として、平成23年度補正予算により塩化カリウムを購入し、各農家に配布し、対策を講じてます。【農政課】
- ③今年1月から簡易測定器の無料貸し出しを行っております。また、各自治センターへ簡易測定器を配備したいと考えております。【放射線対策室】
- ④①のとおり【放射線対策室】
- ⑤内町湖の湖水の放射能測定をしたことはありませんので、今後、限東土地改良区とも連携し対応していきたいと思っております。【農政課】

- 意見・質問・要望等**
- ①毎時0.23マイクロシーベルト以上の地域を優先的に除染するということだが、除染した物の処分の方法はあるのか。【小田地区】
- ②福島第1原発事故以前の角田市の放射線量はどうだったのか。【小田地区】

- 当日の回答**
- ①除染土壌や廃棄物の処理に関し、国・県における具体的な処理方法は決まっています。天地返し等の方法を試してみようと思っています。除染計画は今年度中に策定します。
- ②毎時0.017～0.02マイクロシーベルトと聞いています。

- 今後の取組み**
- ①除去土壌等は、市が設置する仮置場に保管することになりますが、仮置場が設置されるまでは、除染の実施施設での現場保管となります。いずれの場合も安全性を確保するために基本的な構造は「除染関係ガイドライン」を基本とします。
- ②事故前の放射線量について、角田市内の測定値はありません。「放射能情報サイトみやぎ」で公表されている県内における事故前の放射線量は、保健環境センター（仙台市宮城野区幸町）で測定している平成21年度のデータが毎時0.0176マイクロシーベルト～0.0513マイクロシーベルトとなっております。【放射線対策室】

- 意見・質問・要望等**
- ①除染の問題ですが、除染した土をどこに持って行って処分するのか。
- ②角田市でも高圧洗浄機3台を購入したようですが、洗浄した水をどうするのか。
- ③除染に係る経費は、すべて国や東京電力からもらえるのか。【角田地区(野田ブロック)】

- 当日の回答**
- ①除染した土壌や廃棄物の処理に関して、国・県における具体的な処理方法が決まっておりません。『汚染状況重点調査地域』に指定されたことにより、除染実施計画を策定中です。
- ②具体的にまだ示されていません。
- ③『汚染状況重点調査地域』に指定を受けたことにより、国から助成されます。東京電力に対しても、市や議会から要望してまいります。

- 今後の取組み**
- ①除去土壌等は、市が設置する仮置場に保管することになりますが、仮置場が設置されるまでは、除染の実施施設での現場保管となります。いずれの場合も安全性を確保するために基本的な構造は「除染関係ガイドライン」を基本とします。
- ②洗浄した水は、セシウムが付着している土壌等を沈殿させ、上水を排水し、土壌等は除去土壌同様保管します。
- ③除染に係る経費は、国の補助基準に基づき補助金が交付されます。補助基準以外の経費は、東京電力に対し損害賠償請求をします。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

①市で放射線対策室を設置し除染計画などを作り、幼稚園などから始めると市長より伺った。

毎日新聞の阿武隈川沿いを歩くという特集では角田がかなりのスペースの記事になっている。

福島の阿武隈川流域の汚染物質は阿武隈川に流れ、岩沼では汚泥として堆積して5億ベクレルになっている。

元東大助手の方の測定では、ラジコン飛行場に使われている河川敷の汚染が19,000ベクレルだそうだ。

この付近は菜の花まつりの会場で、いつものように開催しているのか、きっちり測定した上で検討すべきである。

また、河川敷で耕作している農家の方がいるが、例年通り作付けしているのか、きちっと測定して、市のほうで把握し、情報を伝える必要がある。

②河川敷の話はルールを作って、出荷しないとか、食べないなど条例を作るべきである。河川敷生育作物が出回って、検査で検出された場合には角田産ということで風評被害を招くことになる。

阿武隈の水を水田に引いているが、低濃度でも汚染された水を毎日引いていけば沈殿し蓄積される。

非常に懸念しており、早急に対策が必要である。阿武隈川の水質を調べて、汚れた時には揚水しないなどのルールを作るべきである。これはいってみれば、二次汚染であり、これは行政・政治家の責任である。

福島の碎石の問題は行政・政治家の責任であり、こういうことがないように、角田の農地を汚さないでほしい。そのルールを議会で確立して頂きたい。絶対やって欲しい。

③除染計画を作成中とのことだが、除染基準が $0.23 \mu\text{Sv}$ 、側溝、空き地、公園などどこを測るのか。先般市から小山公園に測定にきましたが $0.23 \mu\text{Sv}$ でした。その公園の道路を隔てた民家の側溝では $2.5 \mu\text{Sv}$ だった。通学路であり桜小学校の近くでもあるところですが、除染計画を立てる際に測定する場所の明確な基準がないと、後から苦情が出る恐れがあるので、そのようなことが起きないようにしてほしい。公園・道路だけではなく周辺・側溝を含めた形で測定する基準を明確にして市民に公表すべきである。【桜地区】

当日の回答

①放射線から命を守る県南部の会から個人的に要請を受けていますが、水が一番心配だと聞いています。自分で測定器を購入して測っていますが、東町の堤防辺りで $0.5 \mu\text{Sv}$ 、川を越えて枝野では同様に $0.5 \mu\text{Sv}$ 、自宅は $0.3 \mu\text{Sv}$ 位です。その方から貰った資料によれば阿武隈川の河川敷、市民ゴルフ場から東根の小坂辺りまでは、今まで低かったが、台風15号以降高くなっております。

自分でも金山の方から測ってみました。雉子尾川と阿武隈川の合流地点、原町地区では $0.6 \mu\text{Sv}$ 、枝野橋の下で、ネギを作ってる畑では $1.2 \mu\text{Sv}$ 位ありました。菜の花畑の駐車場の川沿いの葦の生えているところで $1.2 \mu\text{Sv}$ あるのだが、菜の花畑に来ると $0.4 \sim 0.5 \mu\text{Sv}$ と下がりますが、これは台風の後耕した為だと思います。ゴルフ場の北端で $0.5 \mu\text{Sv}$ 、小坂の入り口で $0.5 \mu\text{Sv}$ でした。国土交通省で草を刈ってロールにしておいてあるところでは $0.6 \mu\text{Sv}$ 。阿武隈川の河川敷は福島と同じ状態だと考えられます。個人的には河川敷で作った野菜はいかなものかだと思います。ただ収穫した形跡は見られないので、あそこで耕作している方は多分食べないのだろうと思っています。

②1月1日から国の特別措置法に基づいて3月末日までに除染計画が示されます。2月の定例会ではその案について審議することになると思うので、角田のブランド品や農作物を守るよう提言していきます。広報でも案内していますが、河川と河川から離れたところでは空間線量が大きく違います。パークゴルフ場では $0.7 \mu\text{Sv}$ 、桜5区公民館では $0.29 \mu\text{Sv}$ 、この辺では $0.35 \mu\text{Sv}$ 、角田の平均は $0.36 \mu\text{Sv}$ となっていますが、堤防の内側は $0.6 \sim 0.7 \mu\text{Sv}$ となっています。中央公園も芝生などは高く $0.5 \mu\text{Sv}$ となっています。

4月より除染計画に基づき、具体的に進めていくわけですが、未来をにう子供たちの安心安全に取り組むことが最優先になります。また角田の主たる産業の農業・農産物を守るということについては別の項目としてしっかりと議論しなければならないですし、政治の責任だと思えます。2月の定例会でしっかり発言していきます。

農産物は、風評被害・二次被害を出さないためにも検査を行っています。過日、白石・角田のしいたけが出荷停止になりましたが、角田・白石のしいたけはもともと350ベクレルほどでした。当時500ベクレルが安全値だったのですが、改正され、水は10、一般のものは100となったので、出荷停止となりました。個別に二次被害・風評被害にならないように対応しています。

③今のお話はそのようなことがあったということで受け止めます。

0.23 μ Svは基準からすると0.19+0.04(自然分)となっておりますが、角田は全部重点地区に認定されたので、満遍なく除染計画は作るということになっています。1回に全部はできないので、2年以内に子供たちが生活するところを中心に、学校・児童館・保育所に加え、通学路、公園、集会所もその対象に入れようとしています。確かに部分的に高いところもあり、側溝は高くなります。子供たちが通るところの周辺をきちんと測って除染するということになります。私たちの持っている簡易型の機械ではなく、市のシンチレーションサーベイメータの機械で最終的にはもう一回測ります。

簡易型の機械は市役所でも貸し出しを始めました。午後1時から翌日のお昼までの1日間だけです。放射線対策室に行けば貸してもらえます。

参考までに、市では1km間隔で測定しています。しかし50mがいいのか10mがいいのか、より細かく測定した方が正確にできています。これから市の除染計画ができますが、市だけでは全部を除染できないので、地域と一体となってやっていくんだらうと思えます。そう考えると大事なことは地域ごとに汚染分布図を作ることだと思っています。自分の行政区のことになりますが、自分たちで10台の測定器を購入することにしました。

壮年会と青年会で定点観測を行っています。行政を待ってみても国が決まらないので、となるので、自分たちで汚染マップを作ろうとしています。除染の計画を立てて高いところの除染を行うのに予算を要求しようということにしています。

長い付き合いになるので、一丸となって、早くみんなで取り組んだ方がすこしでも安全になるだらうということで1つの例として紹介しました。

場所の基準ですが、放射線対策室ができて、22人の体制でやっていて、計画がなかなかできないが、高いところについては計画を待たずに除染を行うということです。

これまでの測り方は校庭の真ん中で1分間測るのを5回やって平均を出していたが、除染のスポットを決める測り方は場所の4方と真ん中との5箇所を測ってその平均を出すことになっています。

1月に県から除染についてアドバイスをしてくれる担当者が来て、その後計画を作っていくこととなります。

今後の取組み

①23年度に県の測定で、河川敷を2ヶ所測定しているが、今後も継続して測定していきたいと思えます。【農政課】

菜の花まつりの開催については、会場内の放射線量を測定し、実行委員会で検討し、例年どおり開催することにしました。【商工観光課】

②河川敷においても野菜や牧草を生産しており、特に牧草においては、畜産農家の経営に大きな影響をもたらす場合もあるとの認識をしております。4月27日発出の県の文書で「永年牧草地の除染について」の通知がなされていますので、市としても対処していきたいと考えております。特に大雨により冠水した場合に影響が懸念されますので、継続的に測定をしていきたいと思えます。【農政課】

③除染実施計画の策定区域を決定するための調査測定方法は、環境省の除染関係ガイドラインに示されております。「策定区域は、原

[総務財政常任委員会所管関係]

則として字や街区等の区域単位で判断すること。学校・公園など子どもの生活環境については施設単位で判断してもよい。」「調査測定方法は、区域の平均的な線量を把握すること。」などが示されております。市の除染実施計画では、市内全域を対象としています。【放射線対策室】

No. 11

放射線に関すること

意見・質問・要望等

- ①放射線に関して定点測定報告されてはいるが、もっと真剣にホットスポット探しすべきだと思う。不検出とは言っているが若干でも数値はあるはずだ。
- ②除染を始めるのか。汚染物の置き場所はあるのか。“除染”をマスコミが取り上げることで風評被害出ないものか。どう考えている。【東根地区】

当日の回答

- ①計測を続けデータ資料を集積することが重要です。放射線対策室へ意見提示します。
- ②全てを逐次測定し、公表していく事が大事です。それも一致した形で厳格に行い相互に信頼関係を築く努力が重要です。とにかく測っていくしかないし最後は補償しかないと思います。

今後の取組み

- ①放射線量については、各施設や1キロメートルメッシュによる140か所などの測定を継続して実施するほか、簡易測定器の無料貸し出しによる市民の測定結果報告、走行サーバイメータによる主要道路や通学路周辺の測定を行っております。
- ②平成24年度は、子どもの生活する幼稚園、保育所、児童センター、小・中学校を優先的に、保護者等の不安払拭のため除染を行います。
除去土壌等は、市が設置する仮置場に保管することになりますが、仮置場が設置されるまでは、除染の実施施設での現場保管となります。いずれの場合も安全性を確保するために基本的な構造は「除染関係ガイドライン」を基本とします。
風評被害が出た場合は、東京電力に対し損害賠償を行うことになると考えております。【放射線対策室】

No. 12

放射線に関すること

意見・質問・要望等

除染は、2月下旬ころ決定するのか。1日も早く除染してほしい。4月になったら水田に用水を使用するので、大事なところからやってほしい。【角田地区(北ブロック)】

当日の回答

用水関係については市では農政課が担当であるが、土地改良区とも相談をして、きめ細かく測定をしながら対応するとのことでした。

今後の取組み

平成24年度は、子どもの生活する幼稚園、保育所、児童センター、小・中学校を優先的に除染を行います。【放射線対策室】

市内3ヶ所で農業用水を測定しており、現時点で不検出であり、今後も継続して測定していきます。【農政課】

No. 13

放射線に関すること

意見・質問・要望等

寺前の手作り公園に芝草を植えたが、今回の原発で放射線量が高くなっているが、芝草をはがさないで出来る方法を考えてほしい。【角田地区(北ブロック)】

当日の回答

放射線対策室に伝えます。

今後の取組み

芝地の除染方法として、枯れた芝草や刈りかすの堆積層を除去する「深刈り」が環境省の除染ガイドラインで推奨されています。【放射線対策室】

No. 14

放射線に関すること

意見・質問・要望等 北郷児童館の側溝付近の放射線量が高かった。当時、1マイクロシーベルト超と聞いていた。危ないので蓋をしている。子ども達を近づかせない。外では遊ばせない。北郷小でも遊び時間を制限している。この状況をどう考えているか。【西根地区】

当日の回答 北郷小学校では、各所で測定を実施。昨年5月に親子奉仕作業があり、その時に側溝払いをした土を貯めていたところが特に高いようでした。近寄らないようにロープを張りました。このままではいけないとそれらを袋詰めして北側の立ち入り禁止区域に置きました。北郷児童館の園内のホットスポット地点の土を取り除いて、子ども達が近寄らないところに移動しました。

今後の取組み 北郷小学校では、昨年の秋の奉仕作業の際、側溝の土上げ作業を行い、その時の土を集めておいた場所の放射線量が大変高くなったことから、教職員で土嚢袋にその土を入れ、子どもたちが近寄らない場所へ移動しました。その後、遮水性の1トンパックに詰め、子どもたちの近寄らない場所へ埋設し、現場保管としています。
平成24年度は、子どもの生活する幼稚園、保育所、児童センター、小・中学校を優先的に除染を行います。【放射線対策室】

No. 15

放射線に関すること

意見・質問・要望等 薪を燃やした場合、その灰の放射線を測定してほしい。【角田地区(野田ブロック)】

当日の回答 農政課において市内の方が生産している農産物、井戸水、薪の焼却灰など、予約して頂ければ火・水・木曜日に無料で測定しています。電話での受け付けはしていないので、直接農政課へ出向いてください。

今後の取組み 議員回答の通りです。【放射線対策室】

No. 16

放射線に関すること

意見・質問・要望等 放射能線量の関係で、雨どいや排水溝の汚泥等の検査・処理は今後、どうなりますか。【西根地区】

当日の回答 現在、市で具体的除染計画を立てている段階です。計画がまとまったら、各地区に赴いて説明する予定になっております。そこで詳しくお聞きください。

今後の取組み 今年1月から簡易測定器の無料貸し出しを行っております。また、「身のまわりの放射線量を減らす工夫」のパンフレットを全戸配布しております。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

- ①角田市から借りた放射線測定器で測ると、角田市の広報より高い数字がでている。市民の測定値も広報してはどうか。
- ②小田出身の東大原子物理学卒の方がいるので意見を求めています。どうか。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

- ①市民からの情報を基に、職員もすぐに計測に出向くべきと思います。また、機械を戻す時に、どこを計測してどの位だったのか、データを提出してもらうようにすべきと考えます。
- ②検討します。

今後の取組み

- ①貸出用の簡易測定器は、市の放射線量測定に使用しているシンチレーションサーベイメータより若干高めの数値になるようです。また、返却の際は報告書(任意)を提出していただくようにしました。申し出により、市の方で再測定も行っております。
- ②専門家の派遣は、環境省又は宮城県のアドバイザーの方を依頼しております。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

簡易測定器の貸し出しを行っているか。また、土壌の測定はやったのか。排水溝の清掃については、角田市の場合やっていない。阿武隈川の周辺の放射線はどうなのか。市の方では、対策室をつくったので、幼稚園や児童館、公園等を優先的にやるべきである。【角田地区(北ブロック)】

当日の回答

当局からは定期的に報告がありました。
国の方針がはっきりと示されていない部分もあるので、これから除染計画を作るように2月中旬から3月中旬にかけて住民説明会をやって意見を聴くようになっていきます。

今後の取組み

今年1月から簡易測定器の無料貸し出しを行っており、任意で測定結果の報告をお願いしております。空間放射線量の測定は、各施設や1キロメートルメッシュによる140か所などの測定を継続して実施するほか、走行サーベイメータによる主要道路や通学路周辺の測定を行っております。
平成24年度は、子どもの生活する幼稚園、保育所、児童センター、小・中学校を優先的に除染を行います。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

- ①放射線のシーベルトについて、マイクロとミリの単位の違いは何か。
- ②4月から基準値が変わるので、現在使用している機器では、30ベクレル以下は測れないのではないかと。それについて、どのように対応していくのか。
- ③横倉地区の除染はどうなっているのか。【横倉地区】

当日の回答

- ①マイクロはミリの千分の一です。
- ②新たな対策を検討していると思います。
- ③角田市は平成24年1月1日に施行された「放射性物質汚染対処特別措置法」により「汚染状況重点調査地域(空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト以上)」として指定を受け、国からの予算で除染をしていくことになりました。現在、その進め方について計画を練っているところであり、素案ができた段階で各自治センターに出向いて、説明方々意見交換をする予定とのことです。なお、保育所、幼稚園、小・中学校など、子ども達の環境を優先的に進めることになっています。

今後の取組み

- ①1ミリシーベルトは、1,000マイクロシーベルトになります。
- ②測定時間を長くするなどにより測定下限値を下げるようにしたいと考えておりますが、簡易測定器で飲料水の新基準値である1キログラム当たり10ベクレルに対応することはできません。
- ③平成24年度は、子どもの生活する幼稚園、保育所、児童センター、小・中学校を優先的に除染を行います。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

放射能セシウムの報告(お知らせ)あるが数値だけ知らせられてもどれくらい人体に影響あるかわからない。どのような影響があるか説明して欲しい。【西根地区】

当日の回答

角田市からのお知らせで、各測定地点での測定値(高い所では、0.7マイクロシーベルト以上もあるが、徐々に下がってきてはいるが)が出されています。その数値が生活実感からして、どの程度影響あるか心配されると思います。これくらいの数値だったら安全だという「しきい値」は、その数値が低ければ低いほどいいと考えます。今の数値が、直接的に人体にすぐ影響が出て、病気になるものではありません。内部被ばくの問題で、食べ物への放射線量を測定する機械を498万円で購入し、市民の皆さんに利用してもらっています。500ベクレル以上のものについては、食べないでくださいと話しています。また、この測定数値については、持ちこんだ方には、きちんと知らせています。皆さんには、このような数値が出たとは、公表していません。現在、皆さんが食べているものについては、問題ないとの認識です。食品に含まれる放射性物質の新基準値が4月より厳格化されます。例えば、野菜や穀類などの「一般食品」は、1キロ当たり500ベクレルから100ベクレルへ、牛乳は50ベクレル、飲料水は10ベクレルと厳しくなります。これに対する対応の仕方でも、心配であれば市の検査機器を使って調べるのが安全かと思えます。

今後の取組み

外部被ばくに関しては、確定的影響(ある量(しきい値)以上の放射線を浴びると影響が現れる)も確率的影響(受ける放射線の量が多いほど癌などが発生する確率が高くなる)においても100ミリシーベルト以下の少量被ばくでは、何か悪影響があるという証拠を直接示すデータはない。とのことであります。

内部被ばくに関しては、厚生労働省から平成24年4月から適用の新しい基準値が示されていますが、一般食品は1キログラム当たり100ベクレル、乳児用食品、牛乳は1キログラム当たり50ベクレル、飲料水は1キログラム当たり10ベクレルで、より安全側に立った基準値となっております。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

最近、国の基準が500ベクレルから100ベクレルに引き下げられたが、その理由等について伺う。【角田地区(田町ブロック)】

当日の回答

原発事故から一定の期間が過ぎ、健康問題に関する国民の様々な要望等を踏まえた形で、健康被害が生じないよう見直しを図ったもので、特に食品等に関し一定の基準値を引き下げたものです。

また、市民の健康を守るという観点から、それらの食品汚染状況を皆様にお知らせしていくことも重要と考えております。

今後の取組み

厚生労働省から新しい基準値の考え方が示されていますが、食品中の放射性物質からの線量が、年間1ミリシーベルトを超えないように設定するため、飲料水の線量を差し引いてから、一般食品に割り当てて線量を決定し、年齢区分別の摂取量と換算係数を考慮して限界値を算出しています。その中の最小値が1キログラム当たり120ベクレルであることから、基準値を100ベクレルに設定しています。

飲料水については、WHOが示している基準に沿って、年間線量を約0.1ミリシーベルトで、基準値を1キログラム当たり10ベクレルとしています。

乳児用食品、牛乳に関しては、一般食品の半分の50ベクレルを基準値としています。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

①平成23年12月27日東北大学加齢研究所の川島隆太先生の講話があり、テーマは農産物と放射線についての話がありました。その前にも、春にジュネス我妻で講演があり、どちらの講師の方も同じ大学の先生であり、内容は「少し位の放射線でも影響ない。ほかにも癌になる要素がある。」といわれていました。放射線についてはいろんな見方や考え方があるが、なぜ同じ大学の先生を選んだのか。丸森町では、それぞれ違う分野の先生による講演を行っていたようだ。角田も、違う大学、違う分野の先生の講演を検討すべきではないか。

②除染の効率的な方法を教えてほしい。行政区には下部に班があるので、班長が、測定器を貸し出して、きめ細かく測定してみてもどうか。【角田地区(北ブロック)】

当日の回答

①当局に伝えます。

②提案があったことは当局に伝えます。

今後の取組み

①講演会等について、健康に対する不安払拭のため放射線に関する正しい知識の啓発普及を継続的に行っていくことが重要であり、平成24年度も開催を予定しております。

②「身のまわりの放射線量を減らす工夫」のパンフレットを全戸配布しております。

簡易測定器の無料貸し出しは、今年1月から行っております。また、各自治センターへ簡易測定器を配備したいと考えております。【放射線対策室】

意見・質問・要望等

放射線量の市の報告の仕方は、もっとコメントなり説明を付け加えるべきと思う。例えば、簡易測定器とサーベイメータの測定とでは、30～40%の誤差があるということや、中島保育所の数値が下がってきた理由など、ただ単に紙面に数値だけを掲載するのではなく、説明を入れてほしい。

また、ホームページで140か所のポイントについて測った数値は、ホームページは見ない人、見られない人もいるので、書面で配布して欲しい。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

線量計の機種等により、計測数値は違ってきます。簡易測定器は主に傾向を見るために測り、サーベイメータは、より正確な数値を計測するために使用しています。

お話しの通り、もっと詳しく説明を入れ、分かりやすく情報提供すべきと思いますので、持ち帰って当局に伝えます。

今後の取組み

広報の仕方等について、今後検討します。【放射線対策室】

No. 24

放射線に関すること

意見・質問・要望等 先月の東北電力ニュースで放射能関連の記事が載っていた。セシウムとか体内に入った場合でも、汗とか尿で体外に排出されるので、大丈夫ですとの内容の記事でした。周囲でそんなに心配は必要でないのかなとの感じがした。その記事は本当なのですか。【西根地区】

当日の回答 間違いなくセシウム等は排出されるが、量的に100取り入れたら、排出するのに数か月を要す。この問題は専門家に聞かないと難しいです。排出されるよりも多く取り入れれば、内部被ばくの量が多くなります。そのあたりを自分で注意して、どれくらいだったら大丈夫かを判断していくしかありません。例えば、何ベクレル以下は食べてもいいですよ。それを信じて食べないと生きていけません。しかし、放射性物質はDNAに傷をつける確率を高めます。それでそういうものに近づかないように日常生活の中で注意する必要があります。食べ物の検査をきちんとして、高いものは食さないことが大事です。

今後の取組み 放射性セシウムの新陳代謝等により体内から除去される生物学的半減期は、内閣府の食品安全委員会によれば、年齢により異なり、1歳までで9日、9歳までで38日、30歳で70日、50歳で90日となっております。【放射線対策室】

No. 25

放射線に関すること

意見・質問・要望等 損害賠償請求の相談を引き受けている団体があると聞いたが本当にあるのか。【枝野地区】

当日の回答 仙台弁護士会で取りまとめる団体(ひまわり弁護士事務所)を設立することになった。

今後の取組み 弁護士事務所のほかに宮城県原子力安全対策課内に相談窓口(電話022-211-3323)が開設されています。【放射線対策室】

No. 26

角田市震災復旧・復興基本計画に関すること

意見・質問・要望等 災害復旧の期間と工程はどうなっているのか。【横倉地区】

当日の回答 去年8月25日に策定した『角田市震災復旧・復興基本計画』に基づいて、基盤的なものは平成23～24年度の2か年間を目標に復旧したいと考えているが、国の査定があるので時間がかかっています。その他、市民の意見を取り入れながら復興するものについては、27年度終了を目標に実施しているところです。

今後の取組み 当日の議員回答のとおりです。【防災安全課】

意見・質問・要望等

①角田市の場合、今、一番心配されるのは、先の震災で破損した阿武隈川の堤防も含めた水害対策だと思う。市では、ハザードマップの配布をしているものの、具体的且つ有効な避難場所や避難経路など不明確で浸透していないと思える。

②今後「震災復旧・復興計画」・「除染計画」・「防災計画」など相当の一般財源が必要となってくるものと思う。これらに対し、議会としてどの様に考えていくものなのか。そのスタンスがあれば伺いたい。

③財源の問題として、これらの災害対策費として一過性のものであれば少々の事業の繰り延べ等は理解できるものの、一方で「第5次長期総合計画」の事業がスタートしており、それらを進行していくには確固たる財政計画に基づくものと考えて。現在、震災に伴う事業の見直しや繰り延べ等が頻発するのであれば「長期総合計画」自体の見直しも必要ではないか。議会としても、それらの提言と審議をする中で、市民の皆様に情報提供して明確化し、理解を図っていくべきだ。【角田地区(田町ブロック)】

当日の回答

①現在、角田市においては、先の震災による復旧・復興及び除染計画に基づき、最優先事業として取り組んでいるところでありますが、一方で水害対策については、ハザードマップの配布や地域防災組織の編成など一定の取り組みを行なっております。しかしながら、ご指摘の通り、具体的且つ有効な避難場所や避難経路など不明確で浸透していないのも事実であり、それらの課題については、今後、策定予定の防災計画の審議の中で提言してまいります。

②先の12月定例会で、2億2千6百万円程の補正が組まれました。その結果、一般会計の総額が141億4千4百万円となり、当初予算の1.26倍となり、今後も増額するものと考えております。災害の復旧・復興や除染対策が最優先事業となり、平成23年度に予定していた新規事業等が現在ストップしております。

これらの災害対策に要する経費については、国・政府の対応がまだまだ不明確な状態であり、当市の財政はかなり逼迫するものと考えております。今後は、節約すべきところは節約し、要求すべきは要求してまいりたいと考えております。このような中で、除染作業については長期戦になることが想定され、市民の皆様の協力を得た形での「協働」の真価が問われるものと考えております。

③大変に重要なご意見です。2月より予算議会が予定されており、市長の予算に関する考え方について説明を受ける予定です。この件は、単年度の予算審議に留まることなく、中・長期的な視点と確固たる財政計画に臨む必要があるものと考えております。また、震災後の「長期総合計画」の見直しについても必要な提言及び審議を図ってまいりたいと考えております。

今後の取組み

①平成24年度において、「角田市地域防災計画」の見直しをしていて、職員用の災害対応マニュアルの整備のほか、避難所及び避難経路などが市民に浸透するような市民用マニュアルを整備・配布することとしています。

②東日本大震災における直接の被害に対しては、国庫補助、起債充当率の嵩上げ、震災復興特別交付税措置や特別交付税措置のほか震災復興基金の交付などにより、相応の財源補てんがなされています。しかし、細部にわたってはそういったものの対象とならないものもあることから、今後必要となる一般財源がでてくることも事実であります。こういったことから、今後も引き続き効果・効率的な行財政経営により、そういった財源を捻出しながら、復旧・復興を果たしていきます。なお、東京電力福島原子力発電所の事故による放射性物質の除染経費については、基本的に国の負担のもとで実施する予定です。

③中心となる事業のうち一部を除き震災の復旧・復興事業は、平成

25年度までに終わらせる予定としています。平成23年度は、当該復旧等事業に全力を傾注しましたが、平成24年度以後は、復興に向けて第5次長期総合計画の実現に向けた取り組みを行っており、この推進こそが、本当の意味での震災からの復興につながるものと考えています。【政策企画課】

No. 28

防災に関すること

意見・質問・要望等

①現在も余震が続いている。阿武隈川の上流に摺上ダムがあるが、決壊した場合、角田市としてどのような対策を立てているのか。また、どのような方法で市民に周知するのか。

②もしダムが夜に決壊した場合はどうなるか。伝達をきちんとしてもらいたい。【角田地区(野田ブロック)】

当日の回答

①阿武隈川の管理は国土交通省です。国土交通省から防災安全課に報告されます。監視体制はされているが、広報のしくみはありません。

②当局に確認します。

今後の取り組み

①摺上ダムは、基本的に地震等に耐えられる構造となっています。ダムから角田市までの距離は約58キロメートルあり、ダムの水が当市に到達するまで約5～6時間かかります。

もし、異常事態が発生した場合、いち早く仙台河川国道事務所角田出張所等からの連絡により、角田市は地域防災計画に基づき市の広報車、消防団員及び区長(防災FAX設置)等により速やかに市民へ情報伝達や場合によっては、避難勧告・指示等を行うこととしています。これと並行して避難所を開設し避難者の対応を行うようにしています。

また、毎年定期的に角田市は仙台河川国道事務所、宮城県、関係市町による阿武隈川における洪水予報・水防・災害情報連絡会議を行っており、異常発生時の連絡体制の充実を図っています。

②夜間についても前記の情報伝達・避難体制を確立しております。【防災安全課】

No. 29

防災に関すること

意見・質問・要望等

防災の危機管理について、行政区長として感じた事は、仮に橋が落下、道路の寸断で対策本部に連絡が出来ない場合、どのような方法で連絡しなければならぬか心配した。防災無線の必要性を思い知らされた。議会の中で取り上げた方はおられるのか。

柴田町では、全区長に防災無線等を配備している例がある。角田市では出来ないか。【西根地区】

当日の回答

3・11震災以後、議会のなかでは質問はありませんでした。電話もつながらない、油もない時に、防災無線は消防団長さんにはあるが、区長さんにはありません。FAXは全区長に揃ってはいるが・・・。電気が通じないので、これも使えません。大変、貴重なご意見と承りました。

要望として承ります。当局にお伝えします。

今後の取り組み

東日本大震災において電気が遮断され、通信機能がマヒしました。このような場合の通信手段とし防災無線の活用はとても有効となります。しかし、93名の全行政区長さんに配備するには多額の予算が必要となりますので、難しい問題となっています。

平成24年度中に防災行政デジタル無線の整備を行います。これは、統制局3局、移動局60局を配備するもので、災害対策本部、土木課、水道事業所、総合福祉センター更に、消防団幹部、各自治センター等となっています。この他車載用も配備します。【防災安全課】

意見・質問・要望等 町尻土地区画整理組合施行区域の中に防火用水を作ってほしい。
【角田地区(北ブロック)】

当日の回答 難しい問題です。当局に伝えます。

今後の取組み 町尻地区は、市街地整備がなされ消防水利の基準に適合している地区です。
しかし、当該地区のほとんどが消火栓となっており、地震による水道管の破損により使用できなくなることも懸念されるところであります。防火水槽は、1基5～6百万円がかかります。
市内全域を見ますと、まだまだ消防水利が不足している地域がありますので、そのような地区を優先的に年次計画のもと順次整備している状況でありますのでご理解願います。【防災安全課】

意見・質問・要望等 地区振興協議会の事業として、洪水ハザードマップの作成について依頼されている。災害の体制、他市の状況を聴きたい。自分の身は自分で守るというのが究極だが、このまま高齢化が進むとそれも難しくなっていく。自主防災組織をつくるのが一番かもしれないが、それにしてもその団体と区長との連絡が取れるようにすべきではないのか。防災無線や自家発電機を配付している自治体もあるようだ。(柴田町の例)防災訓練をそれぞれの拠点で行っても、対応可能な人数・定員の限界があると思うので、小さい単位でやるべきだ。また、防災マップは、もっと身近なものが必要ではないか。【横倉地区】

当日の回答 気仙沼市に視察に行ったときの例では、地区毎に住民が共同で作った、いわゆるワークショップによる防災マップ作りを行ったとのことであつたが、説明に当たった市職員によると身近な地区の具体的な情報を盛り込むことが一番大事ですとのことでありました。

今後の取組み 平成18年3月、角田市全域の阿武隈川氾濫時における浸水地域、浸水の深さ等を調査し角田市洪水ハザードマップを作成しました。しかし、地区の住民の手でこのマップ作りをすることは、その地区の状況を知り尽くした方々が検討し合つて作る詳細なマップなので、その地区の方々の避難時の道しるべとなることと思います。
自主防災組織については、平成24年4月1日から始まった自主防災組織支援事業補助金制度が始まりました。これは基本として行政区単位とし1組織に20万円程度の補助金が交付されるものです。この補助金を基に発電機や防災倉庫等を整備してもらうものです。しかし、20万円で全て揃えられるものではありませんが、自主防災組織の設立の推進に役立ててもらいます。資金の不足分については区民で知恵を出し合い整備することも必要かと思ひます。
また、訓練の方法や規模についてもその自主防災組織でその地区にあつた訓練にするため定期的に行い、改善していつてもらいたいと思ひます。
角田市は、訓練の計画作りから実施における協力、助言を行います。【防災安全課】

意見・質問・要望等

防犯活動の重要性～地域の安全・安心して暮せるまちづくり～を考
えることは、今後、大きな課題となる。これに対するいい形作りが求め
られると思うがどうか。【西根地区】

当日の回答

防犯協会では、一戸何百円と集められているが、少ない予算の中
で活動をされている。もう少し上げてほしいとの話が出ています。
消防、交通指導隊、防犯協会の待遇の見直し時期に来ているかと
考えます。これは要望としてお聞き致します。

今後の取組み

防犯活動の重要性については、今さら言うまでもないと思いま
すが、先人の方々が体験し経験し育んできた夜警団、夜まわり隊等の
いわゆる現在の地区の防犯協会が重要な活動をしております。
大切なことは、地区防犯協会に対し、地区の皆さん方の理解と協
力を頂くとともに、地区民が一丸となって防犯活動を推進する必要
があると思えます。
角田市は、地区防犯協会の防犯活動に対し支援しております。【防
災安全課】

意見・質問・要望等

各地区で協働のまちづくりを展開しているが、桜の地域安全部
には、平成22年度で街路灯1灯つきました。申請をしたけれども、設置
後の報告がない、協議会の会長と部会長が申請書を提出しているの
だが、設置されれば喜ばしいことだが、申請だけさせておいて、出来
上がった後の報告がない。
去年の暮れ1灯ついたが、これが協働のまちづくりで出したことで
ついたのか、何でついたのかがわからない。一言報告があってもいい
のではないか。
7箇所提出したが、5箇所については順番待ちということになってい
るのだろうと思っているが、どういう手順でやっているのか聞きたい。
【桜地区】

当日の回答

振興協議会で検討していただいて、6つの区で7箇所街灯の要望
がでていると当局から聞いています。振興協議会であのようにまとめ
て出すというのはとても有効です。
今年度の予算で1区3区4区7区の4灯については設置されます。8
区の2箇所は設置する柱がない、そのため市は県に要望を出してい
て、防犯灯という形で申請をしています。5区はすでに付いていると
のことです。
回答をしていなかったというのは、振興協議会から正式に提出され
た書類ですから、当然、区長さんや協議会の会長さんに連絡するの
が筋だと思いますので、情報を提供をするよう話をさせていただきます。
残りの2灯については所管の産業建設常任委員会でも追跡してい
きます。

今後の取組み

担当課(防災安全課)に確認したところ、6箇所の設置要望がありま
したが、すでに5箇所については設置いたしました。残る1箇所の8区
については現場調査を行い防犯上必要となると判断した場合は、年
次計画の中で設置したいと思えます。
設置完了については、設置箇所数も多いことから連絡不足のところ
がありましたが、今後連絡したいと思えます。
なお、防犯灯の設置要望につきましては、定められた様式に必要
事項及び地図等を添付し、行政区長か行政区長と連名で提出をお
願いしているところです【政策企画課】

No. 34	地域活動の推進に関すること
意見・質問・要望等	新丁東区はアパートが130戸あり、回覧板が紛失して連絡のつけようがない。【角田地区(北ブロック)】
当日の回答	難しい問題です。当局に伝えます。
今後の取組み	様々な方いらっしゃるので、難しい問題であると認識します。班毎に回覧板に名簿順番を記載したもので回覧するなど、紛失防止策をとられるのも一つの方策であると考えます。【政策企画課】
No. 35	地域間交流に関すること
意見・質問・要望等	枝野小学校では、総合学習の一環として地域の皆さんにご指導いただき、漬物作りを学んだ。ボランティア活動としてその漬物を坂元中学校に建設された避難仮設住宅に届け喜ばれた。この時は、市のバスを使わせていただいたが、今後とも隣町山元町との交流の後押しをお願いしたい。【枝野地区】
当日の回答	大変素晴らしいことです。地道に続けることが大切だと思います。当局と相談してみます。
今後の取組み	被災状況が甚大であった山元町への支援は、震災直後から行っています。今年度も人的支援として、保健師1名を派遣しています。このようなことも含め交流を深めていきたいと考えています。【政策企画課】
No. 36	姉妹都市・友好都市に関すること
意見・質問・要望等	小学校の交流をはじめ、枝野地区としては目黒区との交流を大切にしていきたい。位置づけが薄いのではないか。【枝野地区】
当日の回答	ごもっともです。当局に伝えます。
今後の取組み	第5次長期総合計画の基本計画の基本目標に「姉妹都市・友好都市との多様な交流により、地域力の向上を図ります。」としています。引き続きこれをより所として、交流を深めていく予定です。【政策企画課】

意見・質問・要望等

①角田の人口減少について、子供を産むような若い人が角田に住まない。職員だって市外に住んでる人が多いと聞く。ここを直さねば。議会も真剣に取り組む必要があるのではないか。

②市としては人口を増やしていこうと思っているのか。難しいと思うが。

③仙台圏に勤めている人が多いと思うが、鉄道や道路など交通ラインの整備不足である。だから流失しているのではないか。工場誘致にしても自然が多いだけでは来ない。不便では駄目だ。何か間違いがあると思うがどうか。

東根はそうした意味で一番便利な地域である。ここに公共施設の集約を図れば人口増になっていく。中心地政策の見直しを指摘したい。【東根地区】

当日の回答

①自然減もあるし、農家状況もあり、職住接近対策をやっていくべきだと思います。

②長期総合計画の中では、3万人は維持したいとのことで、人口減少を食い止めるを図ることになっています。

③貴重なご意見をいただいたので、今後の取り組みに反映していきたいと思います。

今後の取組み

居住移転の自由は、これを制約することはできません。しかし、角田市が魅力ある地域となれば、この総人口減少時代であっても、減少に歯止めをかけることもできると考えていて、具体的には働く場及び安住の場の確保であると考えます。従いまして、企業誘致及び起業促進を進め、安全・安心な地域づくりを進めます。東根地区は、仙台圏に近く地理的条件は良いと考えています。しかし、交通インフラ整備や公共施設の整備には、莫大な「時間とお金」が必要となることから、国や県の大きな動きのない現時点では、実行に移すことは困難であると考えます。【政策企画課】

意見・質問・要望等

交流人口100万人都市を目指すというが、どうやってやるのか。重点施策について教えて欲しい。【角田地区(老ヶ先・豊室ブロック)】

当日の回答

賑わいのまちづくり事業等、交流人口が増えるよう計画はありましたが、震災により、災害復旧を優先して行う予定になっております。

今後の取組み

第5次長期総合計画の実現のために3つのプロジェクトを掲げています。その一つに「交流人口100万人都市への挑戦」があります。現在その実現のための施設を検討していて、具体的には、角田中央公園付近に「賑わいの交流拠点」の整備を計画しています。震災の復旧・復興の事業のため少々遅れ気味でしたが、現在は、その構想の策定段階にあります。【政策企画課】

意見・質問・要望等

角田市では道の駅の計画はないのか。【横倉地区】

当日の回答

山元ICから降りた、総合体育館周辺のゾーンに設置する考えが示されています。

今後の取組み

「道の駅」は、国土交通省の登録施設であり、24時間利用可能な駐車スペース・トイレや情報発信施設などを備えることが登録条件となっています。全国で約1,000弱が登録されているようです。「道の駅」とするか否かは別として、角田中央公園付近に「交流人口100万人都市」実現のためのツールとして、このような類の施設の整備をする方向で、現在基本構想の策定段階にあります。【政策企画課】

[総務財政常任委員会所管関係]

No. 40		賑わいの交流拠点づくりに関すること
意見・質問・要望等	隈東地区に交流センターの計画があると聞か、進捗状況はどうか。 【枝野地区】	
当日の回答	長期総合計画の前期に計画されています。本年度前半の事業として2月定例会に基本構想策定について提案されると聞いています。	
今後の取組み	No.39と同じ【政策企画課】	
No. 41		賑わいに交流拠点づくりに関すること
意見・質問・要望等	山元トンネルが開通したのは良いが、土産売り場や休憩場所がない。運動公園付近に施設が必要ではないか。緊急課題だと思うが中央公園付近は特定地域(農振)となっていると聞か。【東根地区】	
当日の回答	以前から説明してきた“賑わいの交流拠点づくり計画”-商工観光課を説明。民間が手を付けようとしたのでNGとなったが、公で推進する場合はOKと聞いている。	
今後の取組み	第5次長期総合計画の3つの重点プロジェクトのうち「交流人口100万人都市への挑戦」として掲げた内容として、角田中央公園周辺の整備(賑わいの交流拠点整備事業)を進めています。現在、基本構想の策定に向け、プロジェクトチームにより検討している段階です。農業振興地域などについては、必要に応じて、所定の事務手続きを進めます。【政策企画課】	
	現在、政策企画課で「賑わいの交流拠点施設整備基本構想」を策定中であるが、現時点における候補地ゾーンにおいて場所によっては、農用地区域にまたがる部分もあります。【農政課】	
No. 42		スマートインターチェンジに関すること
意見・質問・要望等	1月14日の新聞に、山元町坂元付近にスマートインターチェンジが計画されていると聞か、導入されれば角田市にとって活性化になる。【枝野地区】	
当日の回答	石川口の高台付近への設置を、角田・山元・丸森の3市町で要望しています。	
今後の取組み	平成23年12月に国土交通省東北地方整備局長などに対して山元町長ほか、丸森町長と一緒に要望活動を行ないました。整備局長からは、スマートインターチェンジの設置目的に沿った要望であると感じていて、県道取り付けなどにより具体的確認をしていきたいとのコメントがされました。実現すれば、県道角田山下線に続き、県道角田山元線からも高速道路と直結することになり、交通アクセスの向上と経済効果の向上につながると考えています。【政策企画課】	
No. 43		指定管理に関すること
意見・質問・要望等	12月議会で、指定管理期間の延長の議案で、農業の館のみ1年とした修正案が出されたそうだが、他の施設の指定管理については、問題はなかったのか。【角田地区(北ブロック)】	
当日の回答	東日本大震災後の復旧・復興への対応に重点を置くとの考えから、指定管理の期間延長の議案が出されました。施設の管理運営上問題がない施設については、提案通り議決しました。	
今後の取組み	管理の実施状況について各施設から実績報告を受け選定委員会(外部委員3名)において評価を行っています。 問題点はその都度通知をもらい、改善に向けて指導を行って行きます。【財政課】	

意見・質問・要望等

納税貯蓄組合扱いの一括納税方式が4月から組合員毎に納入する方式に変更される。事務コストが削減されるというが、個々人の納付書印刷だけでも費用は増大するはずだ。組合長の納税納付作業も面倒になり、もう納税組合組織そのものをやめようかということになる。それでも良いのか。金融機関からも嫌われるような納税方式をやらないように再考してほしい。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

12月定例会の一般質問でも取り上げられました。行政システム変更に合わせて、近隣自治体同様の納付方法にすることで大きな経費削減になるとのことでしたが、本当にコスト削減になるのか注目しています。総務財政常任委員会で詳しく調査していただきます。第一に扱う人が簡単であること、次にコスト軽減できることであります。新方式を検証したいので、持ち帰り急ぎ検討させていただきます。

今後の取組み

これまでの合計額納税通知書は、標準的な電算システムにはないもので角田市独自に開発されたシステムであります。

これまでの納税貯蓄組合における市税等の納付については、組合員(納税義務者)の納税額を税目ごとに集計し、組合名で1枚の合計額納税通知書により納付していたため、領収証は組合単位で発行されるだけで、組合員(納税義務者)ごとには発行されませんでした。

そのため、組合員(納税義務者)へは翌年度の4月(後期高齢者医療保険料は5月)に市税等納税済通知書(証明書)を交付しておりました。

また、市全体の行政情報システムの契約期間満了に伴う次期システムの契約に際しては、合計額納税通知書を運用するシステムは従前契約の電算会社しか扱っていないため、同じレベルでの競争入札ができず競争の原理が働かないことや、標準的な電算システムで対応できない合計額納税通知書を継続した場合、新電算システム導入時における初期開発費用や制度改正の度に多額のシステム改修費用が発生するなど支障をきたしておりました。

このようなことから、平成24年度からは、合計額納税通知書は廃止し、標準的なパッケージ仕様での運用に変更となるものです。

今回のシステム変更に伴う経費の削減については、総額だけで単純に比較することはできませんが、現行システムにおける経常経費相当分(処理・保守委託、機器・ソフト賃借料)で単純に比較しますと、次期導入システムに変更することでシステム全体では5年間総額1億8千8百万円程の経費削減が見込まれます。

これまでどおり合計額納税通知書による運用となる場合は、システムの改修が必要となることから多額の改修費用が発生することになります。

また、平成24年度より納税組合における市税等の納付方法が、科目、期別ごとに組合で1枚の合計額納税通知書による納付から、科目、期別ごとに組合員の納付義務者全員分の納付書による納付に変更されます。

納付方法の変更に伴い、領収証については組合員(納税義務者)ごとに発行されることとなります。しかし、納付の際に金融機関においては納付書の取扱件数が約10倍に増える見込みで、これまでに比べ事務処理には相当の時間を要することになり、取扱金融機関の収納事務の負担が大きくなります。

それに加え、納税組合の納付が月の25日～末日に集中することもあり、取扱金融機関窓口、とりわけ全組合の約92%(300組合中275組合)を取り扱っているみやぎ仙南農協においては、これまでの手処理による収納事務では、処理が追い付かず窓口の混乱は避けられないものと予想されました。

納付方法変更に伴う納税組合に係る収納の負担軽減と窓口収納の混乱を避けるため、みやぎ仙南農協における収納業務処理時間をできるだけ抑える必要があることから、市では、みやぎ仙南農協へOCRシステム機器を2台貸し出すことで対応しております。【税務課】

No. 45	市有財産に関すること
意見・質問・要望等	30年以上たっているのに西根小学校跡地が全然有効利用されていない。現状はどういう動きになっているのか教えて欲しい。【桜地区】
当日の回答	西根小学校の跡地は運動公園となっています。実際は、有効利用はなく、せんだんの木のための公園のような形になっています。
今後の取組み	西根地区住民のコミュニティ広場として利用して頂く様に行政区長へお願いしています。 現在、老人会によるグランドゴルフ、ゲートボールや花植運動として季節の花を植えるために利用しています。【財政課】

No. 46	年始交歓会に関すること
意見・質問・要望等	年始交歓会時に会場の都合で、出席者は長時間立ちっぱなしとなり、体調を崩される方もいる。イスを用意してもらえよう要望する。【北郷地区】
当日の回答	当局に報告し、検討していただきます。
今後の取組み	H24.1.4に開催された年始交歓会では、お二人の方が倒れ救急車で運ばれる事態が発生しました。大事には至りませんでした。高齢者の出席が多いことを踏まえ、次回からは椅子席とした上で、会場の人数制限もあることから、参加人数の調整を行う予定です。具体的には、各団体等にご案内している参加者枠の縮小等を考えています。【秘書広報室】